

## 婚姻届の記念品としてバラの苗木を贈呈



**A**

本市で新生活をスタートする若い世代に、市川市を住まいとして選んで頂き、いつまでも暮らし続けて頂くように、婚姻届と住民登録の届出時に市民の花であるバラの苗木とガーデニングシテイいちかわのキャラクターである、クロロとバララをモチーフにした記念のプレートを付け、7月頃から配布することを考えています。

**Q**

市民サービスとして婚姻届及び出生届の際記念品を渡す考えについて伺う

# 浅野さち



通信

## 婚活支援事業参加者のフォローの考え

**A**

参加者宛てのアンケートなどにおいて、本事業による出会いがきっかけで、交際に発展し、結婚する場合、一報頂くよう依頼している。今のところ、報告はないが、今後、ご成婚された場合、ささやかなお祝いを進呈することも検討課題としている。

**Q**

昨年8月から開始し、登録手続き者が約340名、計5回の婚活イベントで参加者の中から約60名のペアが成立していると同いました。今後、フォローが必要と思うが如何か。

今後、一歩踏み込み結婚に至るまでのアドバイザーなども検討して頂きたいことを要望しました。

## 高齢者の生活支援を地域で支え合う仕組み

**A**

「地域ケアシステム」の仕組みを進め、現在15カ所の活動拠点を設置し取り組んでいる。ふれあい「会食会」や「サロン活動」また、アンケートを実施し、困りごとや課題を把握し地域の実情に応じた活動をおこなっています。

**Q**

高齢者の方がいざ、困った事がおきた時地域の支え合いが重要です。どのような支え合いの仕組みがあるのか伺う

今後、訪問型生活支援（住民主体による支援）の方向性を見極めていくために市民やボランティア団体の方などの意見を聞き取り検討していくとの事です。多くの市民の方が担い手となつて頂けるために市が主体的になつて住民ヘルパー育成も視野に入れ準備を進める必要性を要望しました。

平成29年2月議会報告



いのちと健康を守る



発行者：市川市鬼高1-14-3 浅野さち

平成29年2月発行 NO.11